

今日までに2名の作文が「若い目」に掲載されました。気持ちが伝わるすばらしい作文です。真里奈さん、多聞君、おめでとうございます。

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2020年(令和2年) 4月12日(水)

10年間よろしく

森永小新5年

青野真里奈

参観日の日に二分の一成
人式がありました。

リコーダーえんそうの後、
作文発表がありました。発表
するのがとてもはずかしか
ったけど、家族や友だちに気
持ちが伝わったかなと思っ
ます。みんなが発表してい
る時、感動してなみだが出て
きました。むねにずきんとき
ました。

最後に、見に来ていたお母
さんから手紙をもらいまし
た。そのしゅん間、わたしは
またなみだが出てしまいま
した。今まで10年間育ててく
れてありがとうという気持
ちと、大人になるまであと10
年間よろしく願います。
という気持ちでいっぱい
になりました。
衣食住が全てあって、みん
なから見守られていて幸せ
です。

(国富町)

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

2020年(令和2年) 5月21日(木)

バレーやりたい

森永小4年

鶴田 多聞

今日、お兄ちゃんと外で
バレーをして遊びました。
2人ではなれて向かい合い、
何回つづくか数えながらし
ました。さい高45回でした。
お兄ちゃんの方にきちんと
返すことがむずかしかった
です。だから、たくさんつ
づくとうれしかったです。
今、コロナのために、バ
レーの練習ができません。
だから、家で練習やトレ
ニング、ランニングをして
います。でも、みんなでバ
レーをする方が楽しいで
す。はやくまた、体育館で
バレーができるようになる
といいです。

(国富町)

6月1日付宮日新聞で国富町産の牛肉を使った給食の様子が紹介されました。

国富畜産農家支援し町内小中生へ



国富町産の宮崎牛を使った焼き肉丼を
おいしそうに頬張った森永小児童

宮崎牛給食で元気に

がんばろう宮崎

新型コロナ

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける畜産農家を支援しようと、国富町は同町産の宮崎牛84キを購入し、町内小、中学校の給食で提供した。5月22日に焼き肉丼として登場。児童生徒は軟らかい肉を満足そうに頬張り、笑顔を見せて

いた。
臨時休校が長期化したこともあり、畜産農家から「町内産の宮崎牛を食べ、子どもたちに元気を出してほしい」との要望を受け実現。町農林振興課によると、和牛の枝肉価格はこの1カ月間で3割ほど下落しており、畜産農家支援の意味も込め給食での提供を決めたという。事業費は73万円。

森永小（中石正彦校長、109人）では校内放送で、新型コロナウイルスからの復興を目指してメニュー化されたことを紹介。児童はニンジンなどと一緒に、すき焼き風に味付けした宮崎牛をご飯の上へのせ、勢いよく口に運んでいた。

5年の宇留島一花さん（10）は「宮崎牛は脂が乗っていて、とてもおいしかった。学校が再開し、給食も食べられるようになってうれしい」と話していた。

（岩永貴宏）
★「プレミア」にも掲載

町広報紙「くにとみ」6月号の表紙を6年生が飾っています。同日の給食時の集合写真です。こちらもぜひご覧ください。

お知らせ

国富町内の企業「日栄建設」様と「吉野建設」様より、町内の小中学校に、非接触型体温計とマスク、消毒用品等の寄贈がありました。まだまだ新型コロナウイルス感染防止のために備えが必要なときです。子どもたちの健康・命を守るためにたいへん助かります。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

